

# 第26回 長崎救急医学会学術集会 メインプログラム

## 第三会場 [ 6階 研究室 ]

長崎救急医学会役員会 9:00~9:55

## 第一会場 [ 6階 大会議室 ] ・ 第二会場 [ 6階 腎臓・糖尿病・母親教室 ]

開会挨拶 9:55~10:00

一般演題 10:00~11:54

ランチョンセミナー 12:10~13:00

### 「救急の現場から 近年の変容」

座長：高山 隼人 国立大学法人 長崎大学病院 地域医療センター

演者：東 竜二 県央地域広域市町村圏組合消防本部 警防救急課

総 会 13:00~13:10

パネルディスカッション 13:20~14:20

### 「在宅医療からの救急を考える」

座長：田崎 修 国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター

パネリスト：

古賀 淳一郎 諫早市役所健康福祉部次長

江島 美樹 長崎県看護協会訪問看護ステーション諫早所長

中道 親昭 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター救命救急センター長

吉田 知之 吉田内科クリニック院長

一般演題 14:25~16:10

閉会挨拶 16:10~16:15

## 第三会場 [ 6階 研究室 ]

長崎救急医学会看護部会 16:30~17:30

# 第26回 長崎救急医学会学術集会 一般演題プログラム

第一会場 [ 6階 大会議室 ]

## I. 救急疾患 10:00~10:54

座長：日宇 宏之 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター

### I-1 絶え間ない心肺蘇生術により救命し得た心室細動合併冠攣縮型狭心症の一例

児島 正純 古川 顕太郎 佐藤 裕一郎 河野 政紀 山口 研児  
JCHO諫早総合病院 循環器内科

### I-2 海外クルーズ船内発症の高度意識障害患者の1症例

宮崎 修平 吉本 広平  
長崎みなとメディカルセンター 救急科

### I-3 Damage Control Surgery により救命し得た腹腔内出血の1例

添田 李子 増田 太郎 権 志成 白水 春香 日宇 宏之 増田 幸子 山田 成美 中道 親昭  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### I-4 在宅医療で発生した手術を要する重症褥瘡の検討

藤岡 正樹<sup>1)</sup> 福井 季代子<sup>1)</sup> 石山 智子<sup>1)</sup> 野口 美帆<sup>1)</sup> 松尾 はるか<sup>1)</sup> 山川 翔<sup>1)</sup> 中村 裕紀子<sup>2)</sup>  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 形成外科<sup>1)</sup> 皮膚・排泄ケア相談室<sup>2)</sup>

### I-5 脳卒中ホットラインで応需した脳神経疾患以外の症例に対する当院救急医の役割

権 志成 村橋 志門 重野 晃宏 増田 太郎 鳥巢 藍 古川 愛子 中原 知之 白水 春香  
日宇 宏之 増田 幸子 山田 成美 中道 親昭  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### I-6 離床プログラムにより早期人工呼吸器離脱が可能であった一例

村橋 志門<sup>1,2)</sup> 権 志成<sup>1)</sup> 重野 晃宏<sup>1)</sup> 増田 太郎<sup>1)</sup> 鳥巢 藍<sup>1)</sup> 古川 愛子<sup>1)</sup> 中原 知之<sup>1)</sup>  
白水 春香<sup>1)</sup> 日宇 宏之<sup>1)</sup> 増田 幸子<sup>1)</sup> 山田 成美<sup>1)</sup> 中道 親昭<sup>1)</sup>  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター<sup>1)</sup>  
国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター<sup>2)</sup>

# 第26回 長崎救急医学会学術集会 一般演題プログラム

第一会場 [ 6階 大会議室 ]

## II. 感染症・アレルギー疾患 11:00~11:54

座長：泊 慎也 JCHO諫早総合病院

### II-1 薬剤性過敏症症候群 (Drug induced hypersensitivity syndrome : DIHS) に対しステロイドとヒト免疫グロブリン静注療法 (IVIg) の併用が有効であった1例

野中 双葉 増田 幸子 中原 知之 権 志成 白水 春香 日宇 宏之 山田 成美 中道 親昭  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### II-2 自殺企図による急性カフェイン中毒の1例

迎 亮平 吉本 広平  
長崎みなとメディカルセンター 救急科

### II-3 イノシシ肉摂取後のアナフィラキシーショックにより頸髄損傷をきたした1例

和田 千香子<sup>1,2)</sup> 平尾 朋仁<sup>1)</sup> 岡村 岳<sup>1)</sup> 井山 慶大<sup>1)</sup> 上村 恵理<sup>1)</sup> 山野 修平<sup>1)</sup> 田島 吾郎<sup>1)</sup>  
猪熊 孝実<sup>1)</sup> 野崎 義宏<sup>1)</sup> 松本 直也<sup>1)</sup> 山下 和範<sup>1)</sup> 田崎 修<sup>1)</sup>  
国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター<sup>1)</sup>  
国立大学法人 長崎大学病院 医療教育開発センター<sup>2)</sup>

### II-4 出血性ショックをきたした Segmental arterial mediolysis (SAM) の1例

山元 暢 村橋 志門 重野 晃宏 増田 太郎 鳥巢 藍 古川 愛子 中原 知之 権 志成  
白水 春香 日宇 宏之 増田 幸子 山田 成美 中道 親昭  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### II-5 Goodbye SIRS, goodbye Lactate? : Sepsis-3 criteria を用いたER 受診患者の解析

吉本 広平  
長崎みなとメディカルセンター 救急科/国立大学法人 東京大学医学部附属病院 救急科学教室

### II-6 院内トリアージにおける qSOFA スコアの有用性

増山 純二<sup>1)</sup> 吉本 博平<sup>2)</sup>  
長崎みなとメディカルセンター 救急部<sup>1)</sup>  
長崎みなとメディカルセンター 救急科/国立大学法人 東京大学医学部附属病院 救急科学教室<sup>2)</sup>

# 第26回 長崎救急医学会学術集会 一般演題プログラム

第一会場 [ 6階 大会議室 ]

## Ⅲ. ドクターヘリ・ドクターカー 14:25~15:19

座長：山下 和範 国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター

### Ⅲ-1 骨盤骨折による出血性ショックにて離島よりドクターヘリ (DH) 搬送された小児の1例

本多 明日美 古川 愛子 山田 成美 権 志成 白水 春香 日宇 宏之 増田 幸子 中道 親昭  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### Ⅲ-2 早期医療介入に課題を残した外傷事案

白水 春香 日宇 宏之 村橋 志門 重野 晃宏 増田 太郎 鳥巢 藍 古川 愛子 中原 知之  
権 志成 増田 幸子 山田 成美 中道 親昭  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### Ⅲ-3 長崎県ドクターヘリ運航実績および遠隔離島での活動についての報告

日宇 宏之 村橋 志門 重野 晃宏 増田 太郎 鳥巢 藍 古川 愛子 中原 知之 権 志成  
白水 春香 増田 幸子 山田 成美 中道 親昭  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### Ⅲ-4 ドクターヘリ現場活動で救急隊員の抱く課題

里吉 拓海 今里 純子 中道 親昭  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### Ⅲ-5 平成29年度ドクターカー活動実績における CPA 症例の分析

山田 勇斗 近藤 丈二 尾上 亜弓 川上 綾 田平 直美  
国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター

### Ⅲ-6 当院における医師同乗救急自動車 (EMTAC) 導入の効果

森塚 倫也<sup>1)</sup> 中道 親昭<sup>2)</sup> 日宇 宏之<sup>2)</sup>  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 統括診療部 診療看護師<sup>1)</sup>  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 救命救急科医師<sup>2)</sup>

# 第26回 長崎救急医学会学術集会 一般演題プログラム

第一会場 [ 6階 大会議室 ]

## IV. 外傷ほか 15:25~16:10

座長：中道 親昭 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 救命救急センター

### IV-1 自傷行為による手関節部完全切断に対し再接着術を施行した1例

福井 季代子 藤岡 正樹 松尾 はるか 野口 美帆子  
独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 形成外科

### IV-2 独居の認知症老人が倒れているところを発見されて救急搬送された脳出血の2例

鬼塚 正成 中村 稔  
長崎北徳洲会病院 脳神経外科

### IV-3 トラベルミン<sup>®</sup> 過量内服により QT 延長をきたした1例

出光 玲菜<sup>1,2)</sup> 平尾 朋仁<sup>1)</sup> 岡村 岳<sup>1)</sup> 井山 慶大<sup>1)</sup> 上村 恵理<sup>1)</sup> 山野 修平<sup>1)</sup> 田島 吾郎<sup>1)</sup>  
猪熊 孝実<sup>1)</sup> 野崎 義宏<sup>1)</sup> 松本 直也<sup>1)</sup> 山下 和範<sup>1)</sup> 田崎 修<sup>1)</sup>  
国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター<sup>1)</sup>  
国立大学法人 長崎大学 医学部 医学科<sup>2)</sup>

### IV-4 急性腹症疑いで搬送された急性大動脈解離の看護を振り返って

鶴 泰輔 谷 賢介 増山 純二  
長崎みなとメディカルセンター

### IV-5 「脳卒中ホットライン検討会」を利用した症例検討会報告とその課題

木村 美智留  
長崎県島原病院 看護部

# 第26回 長崎救急医学会学術集会 一般演題プログラム

第二会場 [ 6階 腎臓・糖尿病・母親教室 ]

## V. 救急看護・意識調査 10:00~10:54

座長：増山 純二 長崎みなとメディカルセンター 救急部

### V-1 挿管患者における鎮痛に関する救命救急センター看護師の意識の変化

富永 僚 塩塚 築

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

### V-2 全職員対象に行った一次救命処置の実践的研修に対する意識調査

坂本 理絵 福田 輝昭 森 勇介 杉町 律子 川原 ゆかり 児島 正純

JCHO諫早総合病院 救急委員会

### V-3 地域医療連携室における診療看護師の活動 一退院調整に難渋した例を通して一

庄山 由美

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 診療看護師

### V-4 心臓血管外科病棟における急変対応に関する意識調査

小松 まどか<sup>1)</sup> 矢野 牧子<sup>1)</sup> 高祖 恵美<sup>1)</sup> 中釜 祐子<sup>1)</sup> 久保田 彩月<sup>1)</sup> 今倉 未稀<sup>1)</sup> 張岳 輝子<sup>1)</sup>  
妹川 美智<sup>1)</sup> 永田 明<sup>2)</sup>

国立大学法人 長崎大学病院 10階東病棟 看護部<sup>1)</sup>

国立大学法人 長崎大学 生命医科 学域保健学系<sup>2)</sup>

### V-5 救急看護師と一般病棟の看護師のワーク・エンゲイジメントの比較

松崎 進也<sup>1)</sup> 井手 貴浩<sup>1)</sup> 今村 文子<sup>1)</sup> 笹口 江里子<sup>1)</sup> 泉 大貴<sup>1)</sup> 潮屋 弥希<sup>1)</sup> 戸北 正和<sup>1)</sup>  
森尾 葵<sup>2)</sup>

国立大学法人 長崎大学病院<sup>1)</sup>

品川美容形成外科 福岡院<sup>2)</sup>

### V-6 擦式手指消毒剤使用量増加への取り組み

前川 一樹

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター

# 第26回 長崎救急医学会学術集会 一般演題プログラム

第二会場 [ 6階 腎臓・糖尿病・母親教室 ]

## VI. トリアージ 11:00~11:45

座長：平野 富美子 JCHO諫早総合病院

### VI-1 JTAS を用いた電話トリアージの効果

生田 智子 増山 純二  
長崎みなとメディカルセンター

### VI-2 時間外の救急外来における入院適応外の一例

瀬崎 幸子 田嶋 紀子  
労働者健康安全機構 長崎労災病院 救急外来

### VI-3 当院における院内トリアージの現状と課題

宮田 佳之 本田 智治 吉岡 佳世 田平 直美  
国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター

### VI-4 急性冠症候群患者のDTBT 短縮に向けた取り組み

～ACSチェックリスト導入後の効果の検証～

横山 誠<sup>1)</sup> 本田 智治<sup>1)</sup> 小森 悠二<sup>1)</sup> 山田 勇斗<sup>1)</sup> 川尻 はるか<sup>1)</sup> 渡辺 ゆめの<sup>1)</sup> 田平 直美<sup>1)</sup>  
井山 慶大<sup>2),3)</sup>  
国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター 看護師<sup>1)</sup>  
国立大学法人 長崎大学病院 循環器内科<sup>2)</sup>  
国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター<sup>3)</sup>

### VI-5 電話トリアージと家族看護の重要性～急性硬膜外血腫の一例を経験して～

中野 真由美  
地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター 救命救急センター ER

---

# 第26回 長崎救急医学会学術集会 ランチョンセミナー

---

第一会場 [ 6階 大会議室 ]

## 「救急の現場から 近年の変容」

平成30年9月1日（土） 12:10～13:00

### 【座長】

高山 隼人 国立大学法人 長崎大学病院 地域医療センター

### 【演者】

東 竜二 県央地域広域市町村圏組合消防本部 警防救急課



# 第26回 長崎救急医学会学術集会 パネルディスカッション

第一会場 [ 6階 大会議室 ]

## 「在宅医療からの救急を考える」

平成30年9月1日（土） 13:20～14:20

### 【座長】

田崎 修 国立大学法人 長崎大学病院 高度救命救急センター センター長

### 【パネリスト】

古賀 淳一郎 諫早市健康福祉部 次長

「諫早市における地域包括ケアシステム構築に向けた取組」

江島 美樹 長崎県看護協会 訪問看護ステーション諫早 所長

「訪問看護師の立場から」

中道 親昭 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 高度救命救急センター長

「当院における在宅医療患者の救急医療入院の現状と課題」

吉田 知之 吉田内科クリニック 院長

「在宅医療からの救急を考える」